

放課後子ども教室の報告

近年、子ども達は直接的な体験の機会が少なくなっていると言われています。変化していく社会の中で、子ども達が生き抜く力を育てるためには、異学年や地域の大人と交流しながら様々な体験をすることが必要です。

そのために行っている事業の1つが「放課後子ども教室(各地区平日開催)」です。

◆放課後子ども教室(各地区平日開催)とは

平日の放課後の時間、地域の大人が指導者となり子ども達に様々な体験活動の機会を提供する事業です。



◆なぜ放課後子ども教室が始まった？

長井市では児童の約3割が学童クラブを利用しています。「学童クラブに通っている子と通っていない子が放課後に遊ぶ場が無い」「家に帰っても近所に遊ぶ子どもがいない」といった声を受け、平成27年度から市全体で放課後子ども教室(各地区平日開催)に取り組んでいます。

H31. 4. 1現在、長井市内の小学生1,242名に対して382名の児童が学童クラブを利用しています(約30%)。
1~3年生に限れば、小学生625名に対して293名の児童が学童クラブを利用しています(約46%)。

◆長井市の体制について

コーディネーターという役割を各地区1~2名の方をお願いしています。その方が中心となって地域の指導者を集め、活動を企画・運営していただいています。また、PTA や子ども会、地区長会など様々な団体と協議の場を持ち、地区のコミュニティセンターや学校にご協力いただきながら実施しています。

◆Q&A

①学童クラブとの違いは？ ⇒役割と頻度が異なります。

学童クラブ：留守家庭のお子さんの生活の場(学校のある日は開所)

放課後子ども教室：全ての児童の学びと交流の場(月1回程度)

②参加したい時は？

各回開催の1~2週間前にチラシが配られます。チラシに記載の方法でお申し込みください。

「放課後致芳っ子ひろば」について

致芳地区コーディネーター 鈴木 陽一

1. 地域の中での「放課後致芳っ子ひろば」の目的

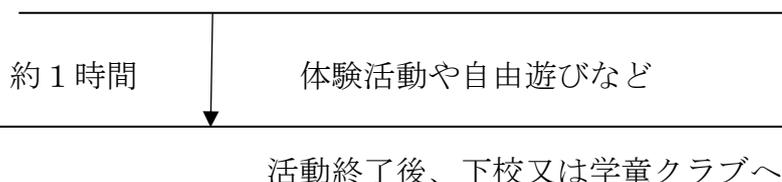
少子化や両親の共稼ぎ、核家族化により、帰宅後に遊ぶ相手・環境がない子どもが増加しているという長井市の現状を踏まえ、学童クラブと連携し「放課後致芳っ子ひろば」を実施。致芳地区では、子どもは遊びを通して自主性や創造性、社会性が育まれるため、その活動の場（環境）を提供することを目的としている。

※致芳地区では「放課後致芳っ子ひろば」という名称で放課後子ども教室を開催しています。

2. 「放課後致芳っ子ひろば」の概要

- 開催日 6月～11月の木曜日（年4回）
- 会場 小学校の体育館や多目的ホールなど
- 時間 放課後の午後3時～3時50分
- 対象者 致芳小学校の1年生～3年生（学童クラブ利用者を含む）
今年度の学童クラブ希望者は43名（うち1～3年生は35名）

子ども教室参加希望者（申込制）は、



参加者は児童数（1～3年生）の4～7割程度。各回において男女差や学年差も若干見られる。

3. 「放課後致芳っ子ひろば」のいままで(回顧録)

致芳小学校では一部の児童は下校にスクールバスを利用しており、高学年は委員会活動やクラブ活動で6時間授業、低学年の児童は5時間授業となる日は2便を運行している。

そのことを踏まえ、致芳地区では1年生から3年生を対象として6時間目の時間に開催し、参加した児童が高学年と一緒に帰宅できる体制を整えた。

対象を絞っての年4回の実施ではあるが、校内の事情や地域の実態を考慮しての実施回数なので、妥当であると考えている。

4. 現在の運営で課題だと感じている事

人材確保

- ①地区内への情報発信の工夫をしていく。
 - ・趣旨等の周知を図る。
 - ・学校運営協議会での話題に挙げる など
- ②コミュニティセンターとの連携を更に図り、学校教育に興味・関心を抱くような手立てを検討したい。



5. やりがいだと思っていること

- ①子ども達とのふれあいの場を通して元気づけられる。
- ②子ども達の喜んでいる姿、おどろきの表情など
実体験の場での純真さが伝わってくるので、うれしくなる。
- ③この事業を担当し、身心の健康維持の1つになっている。



6. 今後どんなふうに進めていきたいか

- ・様々な体験活動を通して地域の人（大人）との交流が、更に深まるように指導者側の体制を整えたい（参加してみたいくなる企画、興味関心の高揚を図る等）
- ・今後も子どもの視点、子どもファーストの立場で健全育成の一助になるよう取り組みたい。
- ・記録の集積や資料の整備も大切にしたい。

7. 子ども達の感想

（グラウンドゴルフ）

- ・初めてだけど楽しくできました。むずかしかったけど、うまくできてよかった。

（水遊び ※雷で屋内遊びに変更）

- ・いろいろな遊びができて楽しかった。段ボールで作ったキャタピラ遊びが楽しかった。

（浮き球を作ろう）

- ・みんなと楽しくできたのでよかった。むずかしかったけれど、たのしくできてよかった。

（スライムで遊ぼう）

- ・みんなと楽しく、仲良くスライム作りができてよかったし、おもしろかった。

8. 各学校・コミュニティセンターから一言

〈学校〉

「放課後致芳っ子ひろば」に参加している子ども達は、とても楽しく活動しています。その中で友達と仲良くなったり、チャレンジする気持ちが高まりました。さらに、鈴木陽一先生が地域の指導者を招いてくださったため、子どもと地域をつなぐ活動になりました。

〈コミュニティセンター〉

コーディネーターと常時行っているミーティングの中で、指導者の選定（発掘）と依頼の大変さを感じています。コミュニティセンターとしては、引き続き地域の先生（指導者）発掘に協力していきたいと思えます。「学校では体験できないこと」が子ども達の興味・関心を誘うキーワードだと思います。また、地域の大人との「語り」の場を設けることも子ども達にとっては良い刺激になるのではないかと感じます。

9. コーディネーターから地域の方をお願いしたいこと

**放課後致芳っ子ひろばにご協力くださる地域の方を募集しています。
みんなで子ども達の健全育成に取り組みましょう！**

10. その他

学校側の全面的な協力、そして理解をいただき、大変スムーズに実施することができ、感謝しています。



致芳地区

子ども達の学校生活に合わせ、春から秋までで年4回実施しています。特技を持った地域の大人が指導者となり、工作や運動など様々な体験を提供しています。

平成27年度

けん玉、運動遊び

など2回実施

参加者延べ76名

平成30年度

屋外での運動や工作、

プールなど4回実施

参加者延べ125名

平成28年度

屋外での運動やプール、

工作など4回実施

参加者延べ149名

令和元年度

グラウンドゴルフや屋内遊び

工作など4回実施

参加者延べ123名

平成29年度

ニュースポーツや工作、

プールなど4回実施

参加者延べ136名



お問い合わせ先：

長井市教育委員会文化生涯学習課 生涯学習係

電話：0238(84)7677

FAX：0238(88)5883